

	タイトル	サブタイトル	内容
50回 22・11・18 (木) 植田隆明	場所打ち杭の工法って どう決めるの  講師 東洋テクノ(株)様	・場所打ち杭の種類と工 法を知り積算に活かし たい	・場所打ち杭の種類 ・工法が決まる要素とは ・既成杭、地盤改良との違い

質問に対する講師の回答及び補足説明

番号	質問事項	回答及び補足事項
1	最近、アースドリル杭が多くなり、リバース工法の杭はほとんど使用されなくなりました。アースドリル杭で、60mを超えるような深度や、レキを含む層をも掘削できるようになった理由を教えてください。	表-1 表-2参照
2	場所打ち杭の見積を行う場合、コンクリート数量は、杭の実体積に1.08倍（ロス率8%）し、残土数量については、×1.1倍（ロス率10%）しています。割増係数を教えてください。	資料-1a 資料-1b参照
3	既設の杭を引き抜く場合の話です。途中で折れてしまった場合はどのような機械で引き抜くのかを教えてください。	資料-2 資料-3 資料-4参照
4	土質の違いにより、金額に影響を及ぼす要素はありますか。	表-1参照
5	逆打ち工法の構真柱建て込み作業において、通常施工床は仮土間を打設していますが、これに変わる施工床（例えばアス舗装等）の経験があれば教えてください。	資料-5参照 ※部分にご注意ください。
6	杭頭研りを低減する良い方法があれば教えてください。	資料-6 資料-7参照
7	150NAP以外の支持力式があると聞いたことがあるのですが、あれば教えてください	資料-8参照
8	拡底はどこまでできますか。	資料-9a 資料-9b 資料-10参照
9	既存杭の利用をしていると思いますが杭が健全かどうかどう実証するのでしょうか。（利用例と実証例について）	資料-11a 資料-11b 資料-12a 資料-12b参照

10	概算で鉄筋数量を出す場合の歩掛ってありますか。	一般的に、概算値として 75kg/m <sup>3</sup> で計算します。
11	杭コンクリートのロス率が工法によって違うのはなぜですか。	掘削ケーシングの有無などにより掘削方法がことなるため、杭孔の出来形に差異が生じる為です。
12	掘削後の支持地盤の耐力確認はどのように測定するのでしょうか。	基本的に、載荷試験による確認しかありません。
13	敷地や地盤により工法を選定されると思いますが簡単な選定方法はありますか。	基本的に、さまざまな要素を基に工法を決定しますので一概には、不可能です。
14	既製杭と場所打杭の工事費は数量により変化すると思いますがコスト比較の簡便方法（概算レベル）がありましたらご教示ください。	基本的には、ありません。
15	残土処分、杭頭ガラ処分、産廃処分の単価を教えてくださいいただけますか。	地域・処理方法により単価は異なります。また、基本的に単価については弊社では回答しかねます。
16	工法にもよりますが、産廃数量の算出方法を教えてくださいいただけますか。（ある物件で乾かせば産廃にならないと言われ、0円にしたことがありました。）	資料-1a 資料-13参照
17	大まかな目安としてのm単価はありますか。	基本的にm単価・m <sup>3</sup> 単価はありません。
18	施工可能な長さほどの程度ですか。	表-1参照